

# 交流委員会 事業計画

交流委員会 委員長 唐笠 勝之

他人事という言葉が飛び交い人と人との関係が希薄になる今、我々メンバー一人ひとりがJ Cの存在意義に立ち返り、それぞれが利他の心を持ち他人事にする事のないJ a y c e eへ向けて更なる成長をしなければなりません。そのために、L O M内外における様々な繋がりを今一度紐解き、整理し再び紡ぎ合わせ今まで以上に各連携を強化していくことで、一人ひとりが他人事にする事のない心をもった組織へと進化する事を目的とします。

まずは、キャピタルL O Mとしての責任と気概を持って出向されるメンバーを一丸となって支援する事で、出向者に円滑な出向活動をしてもらい、多くの気づきを得ていただく事で自己の成長へと繋げてもらいます。そして、そこで得た貴重な人脈や情報をL O Mにフィードバックしてもらい、メンバー一人ひとりに新たな気づきを感じてもらう事で成長へと繋げてもらいます。さらに、メンバーが成長しこれまでよりも一歩踏み出した新たなJ C運動の気づきを得る為にも、日本青年会議所・関東地区協議会・茨城ブロック協議会としっかりとコミットメントし、諸大会の情報や意義・目的を引き出し、事前にメンバーに伝えてより多くの参加を促していきます。また、各委員会で行う事業が他人事とならぬように、定期的に委員長会議を開催して、各事業の進捗状況や活動報告等を把握し、委員会毎の垣根を越えて全メンバーが一体となって事業を創り上げるという意識を醸成します。そして、すべてのメンバーが「和」の精神を携え力強く運動を展開する事で、地域になくてはならない活力ある組織となる事で“ひと”は集まりやすくなり会員拡大に繋がります。

60年間脈々と引き継がれてきた組織のあり方を充分理解したうえで自己満足に陥ることなく利他の心を持って主体的に行動し、「公」のために自らを最大限活かすことで、我々の崇高な運動が広く伝播され、地域に頼られる存在価値の高い強い組織へと進化します。

## [事業計画]

1. 出向者支援
2. 諸大会の案内、各種手配
3. 委員長会議の開催
4. 会員拡大